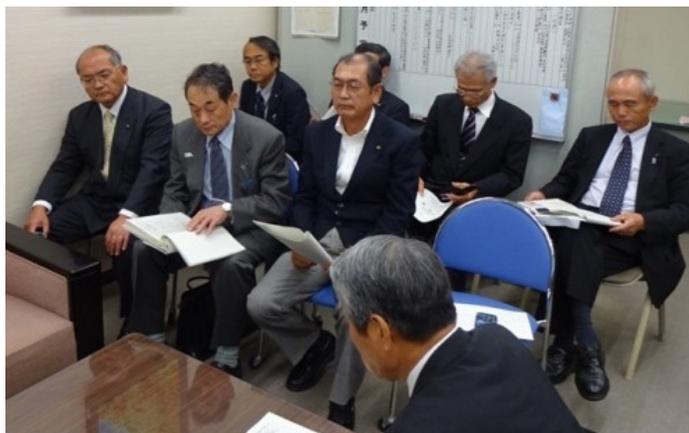


新井柿崎線整備促進求め 県土木部長に要請

28日、県道新井柿崎線整備促進議員連盟は、同線の整備促進について県土木部長に対して要請行動を行いました。要請には橋爪、上野など関係市議10人が参加、小林林一県議、楡井辰雄県議が同席しました。

この日の要請では、歩道設置、防雪柵の設置など24箇所について、宮崎政国会長が最新の写真などを示して整備の必要性を説明し、早期実現を訴えました。

「よく通る路線であり、要望の趣旨は承知している。項目はたくさんあるが、交通量も1日7000台以上あるので、安全対策については優先順位をつけながら順次整備していきたい」と答えました。



県土木部長への要請の様子



8月4日の現地調査の様子

就労移行支援の取組3年で感謝祭

障がい者の“働きたい”という願いに寄り添って就労移行支援を行っている事業所、ワークライフ・ポニーズの感謝祭が23日、運営している認定NPO法人「あにまるネットワーク・ポニーズ」のある㈱リボン本社で行われました。

招かれたのは、日頃から就労移行支援事業にかかわっている様々な団体や個人約80人です。市議会も厚生常任委員も招かれ、橋爪議員も参加しました。

感謝祭では、飛田尚文理事長や森田貞一顧問などから、「いろいろな企業などから支えられてがんばっている。訓練生が見事に成長し卒業していく姿を見るとうれしい。これからもよろしく」と挨拶があり、その後、映像でワークライフ・ポニーズの事業紹介が行われました。同事業所の訓練生は現在17人で、昨年度は7人、今年度は5人が就労したとのことです。

また、外に出て、訓練生が栽培しているハーブの畑などを見学しました。畑の入り口では、レモングラスやミントなどのハーブを使ったお茶がふるまわれました。橋爪議員は、「綿の栽培までしているのには驚いた」と語りました。

橋爪議員は、この日の感謝祭の会場に一番で入りました。そのおかげで事業所に通って学んでいる若者やスタッフのみなさんと交流できたそうです。同議員は、「感謝祭の会場準備や、参加者にジュースを配っている様子を見て、人間らしく生きたい、働きたいという願いを持って一生懸命にがんばっている若者がいて、その人たちに寄り添う人たちがいるって、とてもいいなと思った」と感想を述べていました。

10万人が越後の酒を堪能

10月25・26日に行われた「越後謙信SAKEまつり2014」は、10万人を超える参加者で賑わいました。今回は秋晴れだったこともあり、会場となった高田の本町通りは文字通り人でうまりました。酒だけでなく、農産物や郷土料理なども出て、評判がよかったですね。



「歩道が傾いているため、お年寄りが手押し車を押しにしても、車道にひっぱられてしまう。歩道を平らにしてほしい」など切実な声が出されていました。

(仮称)厚生産業会館アンケート 11月5日までに投函を

日本共産党議員団では、市民のみなさん約6万世帯を対象に、(仮称)厚生産業会館の基本設計に関するアンケートをお願いしています。アンケート用紙はお手元に届

きましたでしょうか。11月8日に、公開の上で集計したいと考えております。率直なご意見をご記入の上、11月5日までに、投函して下さるようお願いいたします。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.433 2014年11月2日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)